

令和6年度 湯口小学校学校経営計画

1 学校教育目標

- ◇ 心のあたたかい子ども
- ◇ 進んで学ぶ子ども
- ◇ 体をきたえる子ども
- ◇ 根気強い子ども
- (ゆ) 夢をもち (ぐ) ぐんぐん (ち) 力をのばす子どもの育成に努める

〈校訓〉 「誠実」 創立 120 周年記念 平成 5 年 9 月 18 日制定

2 目指す像

(1) 学校全体の姿として

スローガン:「チーム湯口」

- ア 児童が笑顔で登校し、明日を楽しみに下校する学校
 - ◎ 互いに認め合い、一人一人の力をさらに伸ばす。
 - ◎ 学級経営と生徒指導が充実している。
- イ 故郷を愛し、進んで地域と関わる児童を育てる学校
 - ◎ 地域に開かれ、地域と共に児童を育てる。
 - ◎ 何事も主体的に関わり協働でよりよいものにしていく。
- ウ 全職員が情報共有に努め「同一姿勢」「同一歩調」で教育にあたる学校
 - ◎ コンプライアンスを遵守し、保護者や地域に信頼され、連携協働していく。
 - ◎ 職員個々の長所が生かされ、組織で対応する。

(2) 児童の姿として

- ア 心のあたたかい子ども (徳)
 - ・ 信頼し合い相手の気持ちを考えながら生活できる子
 - ・ 正直な子
 - ・ 礼儀正しい (挨拶、「はい」と返事できる) 子
- イ 進んで学ぶ子ども (知)
 - ・ 基礎基本を身につけた子
 - ・ 筋道立てて考える子
 - ・ 自分の考えを積極的に表現できる子
- ウ 体をきたえる子ども (体)
 - ・ 規則正しい生活ができる子
 - ・ 健康安全に気をつける子
 - ・ 進んで運動する子
- エ 根気強い子ども
 - ・ いくらやりたくても、やってはいけないことを絶対我慢する子
 - ・ いくらやりたくなくても、やらなければならないことをやり遂げる子

(3) 教職員の姿として

- ア 子どもに「愛語」で接する教職員
- イ 授業を一番に大切にする教職員
- ウ 凡事徹底し学び続ける教職員
- エ 一枚岩で連携、協働する教職員 ⇒ 「チーム湯口」

3 学校経営の方針

- (1) 学習意欲と学力向上を図るために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「日々の授業」を大切にする
- (2) いじめのない心豊かな児童を育てるために、道徳の授業を要として、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動と関連させながら「道徳教育の充実」
- (3) 家庭や地域、学校運営協議会との連携を深めた「開かれた学校づくり」

4 学校経営の重点

(1) 学力向上（知）

- ア 令和6年度湯口小「学力向上アクションプラン」の推進を図る。
- イ 必然性のある「学習課題」自己変容を自覚し定着につながる「振り返り」を大事にする。
- ウ 学習習慣の定着に向けた家庭学習の改善を図る。
- エ タブレット・電子黒板の積極的な活用による学習指導の充実を図る。

(2) 豊かな心の育成（徳）

- ア 道徳の時間を要とし教育活動全体を通じて道徳的判断力・心情・実践意欲を育む。
- イ 自他の命を大切にする心情と行動を育む教育活動を行う。
- ウ 読書活動の推進と図書室、読書おもいで帳システムの利用促進を図る。
- エ 不登校やいじめ等の未然防止、早期発見、初期対応に努める指導体制を強化する。

(3) 健やかな身体の育成（体）

- ア 体育教科での適切な運動量の確保と、行事等での計画的な運動促進と体力増進を図る。
- イ 登下校時や避難訓練による安全指導を徹底する。
- ウ 怪我や病気、事故等に対し、自ら予防に努め、危険を回避できる子どもの育成を図る。
- エ 自他の健康で安全な生活のために進んで行動できる子どもの育成を図る。

(4) 特別支援教育の充実

- ア 特別支援教育コーディネーターを中心に関係機関と連携した支援・指導体制の充実。
- イ 校内就学支援体制を中心とした児童個々の理解と支援の促進。
- ウ 保護者と連携しながら「個別の指導計画」の改善を図り、それに基づき児童の能力や可能性を最大限に伸ばさせるための適切な指導と支援を行う。

(5) 信頼される学校づくり（家庭・地域と協働する学校経営の充実）

- ア 保護者や地域の願いを受け止め、日課や年間計画及び行事の見直しと改善を行う。
- イ 地域コーディネーター、学校運営協議会と連携し、地域人材活用を充実させる。
- ウ 校報や学級・学年通信等の各種通信で適切に情報発信をしていく。